

## 口もとアンチエイジング

当院では、歯科口腔外科の診療領域の対象となる部位（法令線、唇、口角）でのみ、活性ヒアルロン酸によるアンチエイジング治療を行っております。

### 活性ヒアルロン酸の効果

- ・皮膚のハリ改善
- ・皮膚弾力の強化
- ・皮膚の機能強化

活性ヒアルロン酸のココが安心

- ・体内にもともとあるヒアルロン酸と同じ成分でできています
- ・事前に皮肉テストを行う必要がありません
- ・ゆっくり自然に吸収されるため、肌に負担がかかりません

☆トライアル¥10,500-（1部位、1回限り）

【1週間から10日程で肌に吸収されるヒアルロン酸】

## 口腔アレルギー症候群って何？

最近春に近づき花粉症に悩まされている方も多いのではないのでしょうか？口腔アレルギー症候群は、口の中や喉の粘膜に起こるアレルギー反応です。花粉症の人に目立って増えてきています。花粉症の人が口腔アレルギー症候群を引き起こしやすいのは、花粉と果物や野菜に含まれるアレルゲンが共通しているため。症状は、特定の果物や野菜を食べた後、唇や舌、喉といった口腔内にかゆみや腫れが生じます。まれに、顔や体がかゆくなったり喘息のような症状が出る場合もあります。原因となる果物や野菜にはリンゴや桃、サクランボなどのバラ科の植物、メロンやスイカのウリ科の植物、小麦などのイネ科、他にもたくさんあります。上記の様な症状で医師の診断を受けた場合、食べ物の注意も必要になってくるのです。

## Dr.アクザワのサプリメント通信 Vo.5

今回の話題は、血糖値！血糖値＝糖尿病という言葉がみなさん浮かんでくると思いますが、実は血糖値は皆さんの健康精神にとってとても重要な関わり合いがあります。

食事をとると、血管内にグリコゲンといわれる栄養素がいきわたり、血糖値が上がります。血糖値が上がると今度は血糖値の上がりすぎを防ぐためにインシュリンと言うホルモンが出てきて、血糖値を安定させます。しかし、近年の食事により、この血糖値が安定しない人たちが増えてきています。『低血糖症』という病気がそれです。低血糖症は血糖値が低い病気ではなく、**血糖値のコントロールが出来なくなる病気です**。食べても食べてもお腹がすいている人や、**すぐキレる人、うつ傾向の人**などの症状のある方に多い病気ですが、まだ、内科でもそれを積極的に調べる医院が少ないのが現状です。

ある調査では、うつ病で入院している患者さんの80%は血糖値コントロール異常が見つかるそうです。原因は糖質や炭水化物の長期的な過剰摂取です。歯科医師の立場から言えば、糖質、炭水化物は当然虫歯や歯周病の餌になるものなので、とても関わり合いがあります。血糖値と歯科、結びつきそうじゃないけど、関連性はたくさんあります。私は歯科医師ですが、全身の病気にアドバイスできる歯科医師をめざし、栄養療法医師を勉強しています。今後も皆さんに的確なアドバイスができるように、さらに精進していきたいと思っております。 院長 阿久澤 信人

## ㊦㊦㊦㊦が増えました！

2月末からアクザワ歯科の仲間になりました、受付・助手の多田(タダ)と申します。食べるのが大好きです。宜しくお願いします。

## 3月のお休み

休診日：木曜日・日曜日・祝日

その他：3月23日（土曜日）

当院スタッフの結婚式の為お休みさせていただきます。皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ございません。